

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	黒木キャンプ場
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下97-1 名称 公益社団法人 津山市観光協会 代表者 会長 松岡 裕司
(3) 公の施設の所管部署	農林部 農村整備課
(4) 指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
(5) 評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 利用件数	1,081件	(前年度 853件)
	バンガロー 利用件数	853件	(前年度 758件)
	利用延人数	16,292人	(前年度 13,747人)
(2) 事業の内容	黒木キャンプ場の施設等の利用許可・運営・管理		

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総 額	21,641千円	(前年度 18,753千円)
	施設利用料金	12,663千円	
	指定管理料	4,531千円	
	自主事業	2,998千円	
	その他	1,449千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総 額	21,628千円	(前年度 18,573千円)
	人件費	10,418千円	
	光熱水費	2,253千円	
	修繕・消耗品費等	4,169千円	
	委託料	1,485千円	
	負担金・公租公課	1,014千円	
	原材料費	451千円	
	備品購入費	—	
その他	1,838千円		

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	○ 利用者にアンケート用紙を渡して、意見・要望を記入してもらっており、概ね良好な意見であった。
(2) 指定管理者の自己評価	○ 台風によるキャンセル等があったが、今年度の施設使用料は前年度より1,800千円増となった。 ○ 平成31年度から第2キャンプ場テントサイトの一部を車乗り入れ可とした。第1・第2ともに車乗り入れ可能サイトの利用客が多かった。 ○ 木工教室や体験教室等の各種イベントを企画したり、インターネット・フェイスブック等でPR活動を強化したりすることで、黒木キャンプ場の周知・集客を図った。
(3) 市の評価	○ 協定の範囲内で利用者のニーズにあった対応をしており、利用者数の増加に繋がっている。特にテントサイトの利用者数は、前年比約167%と大幅に増加しており、前協定の初年度の355件と比べると3.4倍以上であり、大いに評価できる。また、自主事業として実施している第3キャンプ場の冬期利用も年々増加している。 ○ 今後も引き続き、さらなる集客を目指し、様々な広報媒体を活用した施設のPRや、地域の魅力を活かした自主事業を実施されたい。